

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	看護管理学 Nursing Management & Administration			担当 教員	林 千冬 (専 任)	
開講年次	1年次前期	単位数	2単位		科目 分類	専門科目 基盤看護学	授業形態	講義・演習
選択必修	選 択	時間数	30時間				使用教室	S22
授業の目的及びねらい								
<p>看護管理学という新しい学問領域は既存の経営管理論にその理論的基盤の多くを負っています。これを看護の管理学的にするためには、看護実践の現場への応用可能性も含めた検証が必要です。逆にいえば、こうした作業抜きに、机上でただ経営管理の諸理論を理解しただけでは、看護の専門性に根ざした真の「看護管理学」にはならないともいえます。そこでこの授業では、基礎理論・概念を体系的に学びながらも、それらが看護サービス提供システム上の現実の問題の解釈や解決のためにいかに適用可能であるかを、実際の事例に即して検討することに重点を置きます。これらを通して、看護管理学の基礎理論・概念の理解を深めると同時に、現実の問題解決への応用能力を養うことがこの授業の最終目標です。</p>								
授業のキーワード								
経営管理、リーダーシップ、マネジメント、モチベーション、コラボレーション、人的資源管理 コンフリクト、交渉、労働条件、労働安全衛生、医療安全、変革								
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
第1,2回	1. マネジメントとリーダーシップ：理論と概念の紹介							
第3,4回	2. 集団の特性と経営管理論の変遷：理論と概念の紹介							
第5,6回	3. 組織化と権限・権限委譲 プレゼン：概念の解説と事例分析（以下毎回同じ）							
第7,8回	4. モチベーションとロイヤルティ							
第9,10回	5. キャリア開発と人的資源管理（含む「目標管理」「クリニカルリーダー」）							
第11,12回	6. コーチング							
第13,14回	7. チームとコラボレーション							
第15回	8. コンフリクト対処と交渉							
	9. 賃金と労働条件							
	10. 労働安全衛生							
	11. 医療安全対策とリスクマネジメント							
	12. 変革理論							
	13. これからの看護管理の課題（全員でディスカッション）							
テキスト	特に指定しないが、参考文献その他を幅広く渉猟し活用すること。							
参考文献	<p>1) Bessie L. & Carol J: Leadership Roles and Management Functions in Nursing(4th ed.), Lippincott, 2003. 2) 看護管理学習テキスト1～4および8, 日本看護協会出版会 3) Patricia S. Yoder-Wise: Leading and Managing in Nursing (3rd ed.) Mosby, 2003. 4) 中西睦子: 看護サービス管理 (第2版), 医学書院, 2002 5) 日本看護協会調査研究部: 日本看護協会調査研究報告 (各号), 日本看護協会出版会. 6) ステファン・P・ロビンス: 組織行動のマネジメント, ダイヤモンド社 7) 金井壽宏: 経営組織, 日本経済新聞社 8) 「看護管理」「病院」「看護展望」「Journal of Nursing Administration」各号 ※その他、適宜紹介します。</p>							
成績評価の方法	<p>プレゼンテーション(40%)、発言によるゼミへの貢献(10%)、最終レポート(50%)で評価。 プレゼン、レポートの評価基準は、①内容が正確でありかつ主要な論点を踏まえているか(5割)、②自らの体験も踏まえつつ多角的かつ現実的な考察がなされているか(3割)、③改善策(提言)が独創的でありかつ現実的であるか(2割)を基準に評価。 ゼミにおける発言は、討論の促進に貢献する内容や頻度(タイミング)でなされているかを評価。ゼミにおける課題プレゼンテーション、作成資料、発問や発言による議論への貢献度を合わせて評価の対象とする。</p>							
教員から学生へのメッセージ	<p>* Introduction 以外は受講者全員に分担して理論概説および事例紹介を行ってまいります。 * プレゼンテーションにおいては、分担した課題の簡潔なレジュメによる解説に加え、そのテーマに関する経験事例、和文献、マスコミ資料などからの事例を最低1編紹介し、議論の材料を提供してまいります。 * 事例検討には受講者全員の積極的な参加・発言を求めます。ゆえに、プレゼン担当者以外にも、毎回の課題についての事前学習を求めます。</p>							